



活動と可動用具による生活環境と社会距離を活かすプレイスメイキング

研究代表者：渡 和由（筑波大学芸術系）

1) 研究期間 中期型（2020 年 5 月 25 日～2021 年 3 月 31 日）

2) 応募時の目的・目標・達成イメージなど

課題：屋外で他者と近接せずに社会的な距離を主体的に楽しむための生活の場の設営方法

解決方策：公的空間の一部を使って、他者との距離を設定できる可動用具「モビテクチャ」を製作し、一人一人の仕事やレクリエーション活動を行う仮設的な屋外の居場所設営。

研究の将来性や達成イメージ：公共空間の空地や未利用地を活用した、仮設的なリモートワークの場づくり、家での閉塞感を緩和するリラクゼーションの場づくり。

本支援期間内での達成目的：可搬性の高い屋外で屋台と一人用の小屋などを試作して、公園でそれらを実際に設営して、一時的な仕事場やピクニックを行う場にする社会実験の実施。

3) 本プログラムで実施した研究の内容と成果

- ① 縁側屋台：公園でマルシェを設営し運営する下妻市の市民に聞き取り調査を行い、屋外で使いやすい屋台の試作を行った。屋台の特徴は、女性が一人で軽自動車に載せて、公園の駐車場から芝生まで旅行用キャリーケースの様に運んで、簡単に組み立てられる可搬性の高い屋台を制作できた。その屋台のケースには、天板 3 枚収納し、棚 3 段を装着した。収納性と天板の伸縮性により、仕事や食事の場面で、使う人数に合わせて天板の数で利用者同士の距離を計れる縁側型の用具になり得ることがわかった。（図：1-3,10）
- ② 棚場オフィス：製品として販売されている組み立て式の木製フレーム棚の部材を、2 組運んで、天板を机と座席の高さにして組み立て、「棚場」と呼ぶ一人用仕事場にする試作を行った。高さは最大 1.8m で部材の可搬性がある。面積は一畳程で、囲いや遮蔽の多様性を持たせた「棚場」を各自が独自にカスタマイズして設営できた。（図：4-9）
- ③ 下妻市と筑波大学内キャンパスの一部で、「縁側屋台」と「棚場オフィス」を実際に設営して使ってみる社会実験を行うことができた。その結果、組み立てと解体を含めて、楽しく滞在して、食事や授業、昼寝までできる可能性が見えてきた。（図：1-10）
- ④ 組み立て式の小屋：小型の 3D プリンターで出力できる木質系の部材を組み合わせて、一人用の屋根と壁が一体化した、多用途に使える小屋を組み立てることができた。部材を軽トラックの荷台で運べる可搬性は確認できた。一人での組み立ては行えたが、公園での組み立て実験は 2020 年度には実施できなかった。仮設性を高めるためには、部材数を減らすなど、組み立ての簡易化を図ることが今後の課題である。（図：11-13）
- ⑤ 携帯縁側：筑波山のヒノキや杉の間伐材を運搬して、座席やピクニックに使う、仮設の「携帯縁側」を企画・設営した。女性が一人で運べる丸太材の寸法を製材所で検証し、直径 10cm で 2m の長さにして皮付きで製材を依頼した。丸太 30 本を石岡市の林と大学キャンパス内に運搬して、

ピクニックに使う社会実験を行った。現場に落ちている枝葉を組み合わせることで楽しくその場の環境を活かして設営することができた。この方法は、一般的には難しいが、地域の林業と楽しく連携するきっかけとなった。(図：14-16)

- ⑥ 本研究の意義：他者を許容しながら、他者との社会的な距離を自主的に調整し、身近な材料や家具でそれを意図的に行う「プレイスメイキング」本来の有効性が、コロナ対策をきっかけに深まった。まず、プレイスメイキングが目指す一人一人の場の有用性の確認ができた。厳しい状況下で、地域の伝統的環境や新技術を使って、様々な形態の可動式用具を試しながら、心身の健康に向けた場づくりの一端を体験できたことで、コロナ禍以降も公的環境を主体的に楽しむ場づくりへの新たな知見が得られた。
- ⑦ 禍以降も公的環境を主体的に楽しむ場づくりへの新たな知見が得られた。



1. 公園で「縁側屋台」を運ぶ様子



2. 傘を加えて組み立てた縁側屋台



3. 椅子も加えた縁側セットの設営



4. 大学内のミューズガーデンで行った「棚場オフィス」と「縁側屋台」を組み合わせた「仕事村」の設営実験



5. 展示もできる棚場オフィス



6. 屋根付半開放の棚場オフィス



7. 半透明な趣味の棚場オフィス



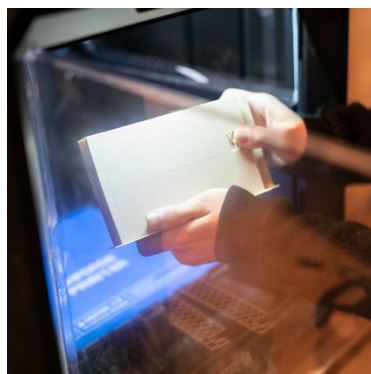
8. 全面が開放的な棚場オフィス



9. 遮蔽ヤドカリ型の棚場オフィス



10. 仕事村の会議場になる縁側屋台



11. 3D プリンタでの部材製作



12. 木質素材の部材を組む過程



13. 部材を組み上げた小屋の壁面



14. 石岡市での間伐材の携帯縁側



15. 大学内での携帯縁側の設営



16. 携帯縁側での珈琲ピクニック

4) 研究業績・研究広報（*：本助成のクレジットを表記）

- Placemaking Week 2021 国際シンポジウムでの発表*

5) 最新の成果・情報

筑波大学「知」活用プログラムウェブサイト> 渡 和由

https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight_covid19/watari/

インタビュー記事

https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight_covid19_interview/watari/